

生活者

生活と政治をつなぐ情報紙

通信

No.380
2023.5.1

東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル4-5階
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274
Eメール tokyo@seikatsusha.net
URL https://www.seikatsusha.me
発行責任者 山内玲子
定価 年間1000円・1部100円 郵便振替口座 00130-3-18417
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可

生活者ネットワーク3つのルール

1 議員は交代制(ローテーション)

生活者ネットワークの議員交代制。
議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を
広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や
地域活動などに、その経験を活かします。

2

議員報酬は市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。
議員報酬は、市民の政治活動資金を活かします。
お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3

選挙はカンパとボランティアで

選挙は、政治に参加する入口です。
みなでお金(カンパ)と知恵と労力(ボランティア)を
出し合い、選挙を行います。

生活者ネットワークは東京都内34の自治体にあり、都議1人、市・
区議40人の女性議員とともにそれぞれの地域課題に取り組みむと
同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。
東京を生活のまち、安心・共生・自治
のまちにするために発言を続けます。



国分寺市議選 ●まさに「私らしく生きるための政治」をかたちにした選挙。生活者ネットの脈々とした活動の蓄積を基盤に、SNS、公園、駅前トーク、自転車移動など、こんなことをやってみたいを日々試しながら全員上位当選。3つの市民の議席を取り戻しました。／高瀬かおる「孤立しがちな方への支援、また、共に暮らし続けるための地域づくりなど、具体的な提案を各所で発信してきました。今後一つ一つかたちにしていきます」／小坂まさ代「妊娠中にひとりも知り合いがいない15年前の心細さや不安が、今の私を支えています。つながりのある、顔の見えるまちづくりをすすめます」／松岡まり「産後2カ月での挑戦。授乳、子どもの遊びと世話、ケア、食事、遊説や選挙カー等、まさに日常の中に選挙がありました」

からこそ、子ども・若者を含む「ふつうの生活者」の声が届く議会、生活者の声が反映される市政・区政へと、地方政治を高めていかなければなりません。参加と協働、徹底した情報公開の促進で、大事なことは地域で市民が決める政治を実現に向けてなければなりません。2023統一地方選挙で信任いただいた生活者ネットワークの「市民の議席」を活用し、誰もが安心して暮らせる環境福祉優先のまちを、地域からつくっていきます。

皆さまのご意見・ご提案を、東京・生活者ネットワークと各地の生活者ネットワークにお寄せください。
2023年4月24日



目黒区議選 ●歩いて歩いて、1日2万歩以上! 車を使わず歩いて政策を訴えたことで、なぜここぞと思う偶然的な出会いが重なったり、人権を考える具体的な提案がいくつもあつたりと、いろんな意見を聞き、身をひきしめて歩を進めることができました。4年前に失った議席を奪還することができました。／増茂しのぶ「私と生活者ネットワークの政策の確かさを伝えたい! どのようにしたらもっと伝わるのかを考えながら歩いた1週間でした」

中野区議選 ●前区議会議員細野かよこを擁し、昨年5月の補選、今回の本選と1年で2度の選挙に挑戦しました。マンスリーレポートを発行し、地道にコツコツを合言葉に区内を歩き、サポーターの協力を得て再び議席を獲得しました。／細野かよこ「念願の議席奪還! 議席のなかった4年間の悔しさを、これからの活動にしっかりといかしていきます」



国立市議選 ●国立では新人を擁立し、現職と2議席確保をめざしました。候補者が決まったのが2月末。新人は、短期間に地域活動に集中しました。候補者の友人という頼もしい助っ人にも恵まれ、2議席へと議席増をはたしました。／こはまかおる「遊説する日々でいただいた皆さまの声、市政へつなぎます」／なかにあやこ「とにかく1週間駆け抜けました! これからが本番です」



杉並区議選 ●投票率4.2ポイント上昇、自公の議席減と女性かつ新人の躍進が象徴的な選挙だった。議員定数48のうち男性23人、女性24人となり(1人は性別非公表)、これまでの15人から一気に増えた。ネットは現職2人が堅実に議席を死守した。／そね文子「この4年間は、ネットへの理解をひろげ次にバトンを渡すための4年です」／奥田雅子「都民ファと維新が各2人、れいわ、参政党も議席を取る中で苦しい選挙でした」



東大和市議選 ●現職3期のじつかわ圭子から、新人の関あや子に無事バトンを渡すことができました。遊説を行うたびに言いたいことや、やりたいことが増えていく関あや子の今後の活躍に大いに期待します。市内全地域を回り、いただいた声を議会へ届けます。／関あや子「市民が主役の、誰もが生き生きと暮らせるまちをつくりたい」



八王子市議選 ●新人2人へのローテーション成功! 八王子ネット34年の活動が未来につながりました。課題もたくさん見えました。これからの新たなスタートです。さらにおおぜいの市民とつながって豊かな活動をつくっていきましょう。／金子アキコ「『大事なことは市民が決める』投票ひとつひとつもやれることはたくさんあると感じた選挙期間でした」／玉正さやか「市民の議席をつなぐことができました。地域の声をしっかり届けていきます」



2023統一地方選挙 生活者ネット32人当選!

東京・生活者ネットワーク2023統一地方選挙対長/都議会議員 岩永やす代

25の地域に、39人の公認候補を擁してたたかっていた、生活者ネットワークの2023統一地方選挙が幕を閉じました。生活こそ政治をモットーに、生活のなかで感じる不都合、日常生活で抱える不安や困難、社会的孤立を解消するために、地域で支えあうしくみを再構築すると力いっぱい訴えた7日間でした。

スローガンは「私らしく生きるための政治」。コロナ禍で明らかになった社会課題に向き合い、だれもが自分らしく暮らせるまち、いのちをつなぐ環境をまもるまちへ、と訴えた生活者ネットワークの政策は、多くの市民の共感を得られたものと自負しますが、しかし、新たにさまざまな政治勢力が参戦する選挙戦において、生活者ネットワークは善戦したものの、現職6人、新人1人が落選、前回から議席を減らす結果となりました。

4月23日投票 東京・生活者ネットワーク 選挙結果一覧 統一地方選挙 32人当選!

●区議会議員選挙/市議会議員選挙

自治体	候補者名	現・新・前(期数)	当・落	順位	定数	得票数	得票率	投票率
江戸川区	伊藤 ひとみ	現(3期目)	当	43	44	3064	56	42.25
	本西 光枝	現(3期目)	当	23		4121		
江東区	千葉 早希恵	現	落	50	44	2107	59	48.87
品川区	田中 奏香	現	落	43	40	1525	58	40.86
	吉田 由美子	現(3期目)	当	35		1858		
	稲垣 孝子	現	落	41		1547		
杉並区	曾根 文子	現(4期目)	当	26	48	3056	69	43.66
	奥田 雅子	現(3期目)	当	24		3078		
世田谷区	高岡 潤子	現	落	55	50	3398	75	46.11
	金井 えり子	現	落	56		3313		
	関口 江利子	新	当	13		6548		
	小野 瑞季	新	当	10		6682		
中野区	細野 かよ子	前(2期目)	当	18	42	2150	60	42.00
練馬区	柳井 克子	現(4期目)	当	13	50	4908	72	43.20
	山崎 まりも	新	当	32		3522		
目黒区	増茂しのぶ	新	当	23	36	1782	57	43.26
稲城市	村上 洋子	現(3期目)	当	15	22	1269	24	49.75
狛江市	松崎 淑子	現	落	24	22	768	33	50.72
	小木 哲朗	新	当	17		1048		
多摩市	岩崎 美奈子	現(3期目)	当	26	26	1316	38	47.35
	岸田 恵	現(2期目)	当	24		1384		
調布市	木下 安子	現(2期目)	当	2	28	3207	44	44.10
八王子市	金子 亜希子	新	当	9	40	4567	58	43.84
	玉正 彩加	新	当	36		3224		
府中市	奥村 幸子	現(2期目)	当	9	30	3199	35	45.74
昭島市	林 麻衣子	現(2期目)	当	17	22	1382	26	45.54
	嘉手納 真樹	新	落	23		1113		
清瀬市	小西 美香	現(4期目)	当	12	20	1144	27	47.57
国立市	古濱 薫	現(2期目)	当	16	21	1068	31	49.76
	中谷 絢子	新	当	20		810		
国分寺市	高瀬 かおる	現(4期目)	当	15	22	1798	30	49.29
	小坂 昌代	現(2期目)	当	6		2269		
	松岡 真里	新	当	13		1840		
小平市	佐藤 悦子	現(3期目)	当	17	28	1939	33	44.78
	柴尾 裕美	新	当	28		1331		
東村山市	白石 悦子	現(3期目)	当	12	25	2205	30	47.86
東大和市	関 綾子	新	当	9	22	1579	31	47.81
福生市	三原 智子	現(3期目)	当	1	19	1463	20	45.75
武蔵野市	西園寺 美希子	現(4期目)	当	14	26	1712	40	50.89

「全国市民政治ネットワーク」選挙結果 2023年4月9日・23日投票

ネット	候補者数	当選者数
市民ネットワーク北海道	道議選	1
	政令市議選	2
	市議選	2
埼玉県市民ネットワーク	県議選	2
	市議選	6
市民ネットワーク千葉県	県議選	1
	政令市議選	3
東京・生活者ネットワーク	市議選	3
	区議選	16
神奈川ネットワーク運動	市議選	23
	県議選	2
	政令市議選	4
ふくおか市民政治ネットワーク	市議選	3
	政令市議選	1
	町議選	1

孤立などが社会問題化している。政治に関わる組織も、その例に漏れない。政治に関わる組織も、その例に漏れない。政治に関わる組織も、その例に漏れない。

言うのは易く、行うのは難しい。しかし、社会の個人化の負の側面が目立つ今、設立から半世紀近くなるネットに期待を寄せ、新たなチャレンジを試みて欲しいと願っているのは、私だけではないかと思う。

もう一つは、投票率の低下である。63の市長選を除いて、過去最低を記録し、5割を大きく割り込んでいる。両者の原因は共通している。それは日本社会が進む個人化だ。地域の自治会や町内会、家族、職場での労働組合といった多種多様な集団の絆が弱まり、人間関係が希薄化してきている。自己決定の領域が広がる一方で、孤独、孤立などが社会問題化している。

でも、どうだろうか。ネットの理念は、自立した個人が身近な地域でつながり、新たな政治を生み出すべく、市民自治の担い手になることにあるのではないか。今こそ、それが求められているのではないか。

一つは、共産党や公明党といった組織政党の苦戦である。特に共産党の退潮は著しく、41道府議選では、前回の99議席から75議席に減少した。もう一つは、投票率の低下である。63の市長選を除いて、過去最低を記録し、5割を大きく割り込んでいる。

これは、上記の組織政党の苦戦とも原因を同じくする。最後まで闘い抜いた候補者の皆さんへの感謝の気持ちとともに、結果については重力の法則のようなものだから仕方ないという諦めの言葉が、思わず口に出そうになる。

統一地方選を振り返って

中央大学法学部教授
中北 浩爾



治家の個人後援会の加入者は減り、業界団体、労働組合、宗教団体など政党の支持団体も求心力の低下が著しい。その結果、若者を中心として、無党派層が増加している。無党派層が増え、組織的な動員が弱まる。それが投票率の低下として表れる。また、無党派層は政治家に会ったり、政党の機関紙を読んだりする機会が乏しいので、政治不信に陥りがちになる。



練馬区議選●定数50名のところ候補者72名と非常に厳しい選挙でしたが、ネットは現職と新人の、2人がともに当選しました。現職9名が落選、新たな4党派が加わり議会も大きく変わる中、ネットの存在をしっかりとアピールしていきます。/やない克子「福祉・環境優先、人権と多様性を認め合う地域社会の実現に取り組みます」/やまさきまりも「安全・安心な食を次世代に! 地域循環型のまちづくりをすすめます」



小平市議選●2人目の候補者の擁立が決まったのが2月過ぎ。重点地域の選定や支持を訴える活動も大幅に遅れ厳しい選挙でした。それでも小平ネット一丸となって必死に活動。何とか2議席を確保。4年後を見据えて活動を進めています。/さとう悦子「人と会って話すことの大切さを実感」/柴尾ひろみ「まちの課題を、歩いて発見。基本のキを再確認するデビュー戦でした」



品川区議選●昨年末の補欠選挙に勝利し、29年目にして念願の交渉会派となり、本選では3議席死守に果敢にチャレンジする選挙戦でした。結果は1議席と減りましたが、挑戦したことに後悔はありません。結果を徹底分析し、次回の議席奪取につなげる覚悟です。今期はメンバーが丸となって、「子ども若者の未来を拓く品川」の政策実現に向けて邁進します。/田中さやか「悔しい結果となりましたが、市民のための政治実現に向けて引き続き地域から声を上げてまいります」/いながき孝子「ジェットコースターに乗っているような6か月でした。でも、本当にさまざまな経験させていただきありがとうございました」/吉田ゆみこ「死守した1議席、フル活用して地域の皆さんとともにネットの政策実現をめざします!」



世田谷区議選●新人が躍進、現職及ばず!! 今回の選挙は、新人に風が吹いた選挙で、おの選対は若者のボランティアサポーターで連日賑わい楽しい選挙活動を行うことができました。関口選対は、支持を広げる活動を徹底したこと、地域に名前を浸透することができました。現職は、日ごろの活動に忙しく、出遅れたこともあり、残念な結果となりました。世田谷区全体では、維新の会が大きく票を伸ばし、区長選でも差が縮まる結果となりました。/高岡じゅん子「この結果を世田谷ネット再生の機会ととらえ、新人の2人の活動を支えていきます」/金井えり子「これからは2人の新人とともに、食の安全、子どもの権利などを守る活動をつづけます」/関口江利子「生きづらさを感じる多くの声に向き合える役割をしっかりと果たしてまいります」/おのみずき「地域の若い女性たち・多様な性を生きる人たちとともに、ジェンダー平等な世田谷をめざして頑張ります!」